

ニーズ スマートシティを支える3次元プラットフォーム（VIRTUAL SHIZUOKA）構築

実現したい都市のビジョン

近年、自然災害の激甚化、急激な人口減少・少子高齢化、担い手不足、過疎地域等における公共交通の縮小・高齢者の移動手段の確保、社会インフラの老朽化など、課題が深刻化している。

こうした社会的課題に対してスピーディーに対応していくためには、目覚しく進展しているAIやロボットなどの先端技術を活用し、地域の魅力を高め、生活や産業構造など社会のあり方を変えていく必要がある。

国では目指すべき未来社会として、仮想の「サイバー空間」と現実の「フィジカル空間」を高度に融合させ、経済発展と社会的課題の解決を両立する社会、「Society5.0」を掲げている。

そこで、本県は、「Society5.0」、「地方創生」等を進めるスマートシティの先駆的なモデルとして、3次元点群データ流通のプラットフォームとなる「VIRTUAL SHIZUOKA」を構築し、あらゆる分野へ点群データを駆動させる。これにより社会的課題を解決するとともに独自の新たな価値を創造・共創し、誰もが安全・安心で利便性が高く快適な静岡ならではのスマートな地域の形成を目指していく。



課題・目標

？【取組分野】①

【課題・目標】過疎地域の移動手段の確保

- 乗合バス運転の担い手を中高年層に依存しており、近い将来、運転者不足により現行のバス路線網の維持が困難になる恐れがある。
- 高齢等による運転免許返納により、過疎地域の移動手段の確保が課題。

？【取組分野】③

【課題・目標】情報提供・早期復旧の仕組み構築

- 災害に対する県民の安全・安心を確保するためには、ハード整備とともに、県民に早期の避難行動を促すための的確な情報提供の仕組みや異常個所の早期発見・復旧などのソフト対策が課題。

？【取組分野】④

【課題・目標】インフラ管理の効率化・生産性向上

- 県内の建設従事者の高齢化や担い手不足が深刻化しており、人口減少社会に対応した効率的なインフラ点検技術の確立が課題。
- 労働者の減少を上回る生産性向上の実現にはICTの活用が不可欠である。

解決・実現の方向性

💡 解決・実現の方向性A 自動運転による移動サービス導入

- オープンデータ化している3次元点群データを基に自動走行用高精度3次元地図（ダイナミックマップ）を整備し、過疎地域、中山間地域、市街地など多様な環境にある一般道において、自動運転による移動サービスの導入を目指す
- 自動運転技術を活用した過疎地域等の移動手段の確保（MaaS）
- 自動運転技術と物流の組み合わせによる買い物難民対策

💡 解決・実現の方向性B 3次元データを活用した災害状況の可視化

- 災害前後の地形データ比較による異常個所の早期発見と速やかな復旧復興
- 県民に早期の避難行動を促すためのハザードマップの高度化（VR,AR等の活用）
- 3次元点群データを活用した赤色立体地図による地すべり地形や噴火口、断層の発見（伊豆東部火山群など）

💡 解決・実現の方向性C 生産性向上、働き方改革の推進

- 高精度な3次元地形（地図情報レベル500程度）の蓄積とオープンデータ化により、3次元の起工測量なしでICT施工が可能
- 目視では分からない変状の円滑な把握（質の向上）、危険な現場作業の最小化（安全性向上）
- 境界確認、用地交渉等にVRを活用し合意形成を迅速化することで、事業全体の生産性向上に寄与
- 熟練技術者の技術の伝承にAI、VRを活用

直近3年以内に具体的に導入したいサービスおよび導入イメージ

自動運転による移動サービスの実装

- 県内における自動運転レベル2での移動サービスの実装（1か所以上）



高精度測位環境の整備

- 県土全域をカバーするGNSS基準局網を整備し、オープンデータ化した3次元点群データとの連携により、高精度・安定した衛星測位技術の利用環境を構築



上記のサービスに対して民間企業・学術機関等と特に連携を図りたい事項

- 自動運転による移動サービスの実装  
実装を目指す県内基礎自治体に対して、実装に向けた支援（運行スキームの構築、需要調査等）をいただける事業者
- 高精度測位環境の整備  
令和6年度に試験運用するGNSS基準局補正情報配信を利用し、フィードバックをいただける測量業者

その他

<実施中のプロジェクト>

- しずおか自動運転ShowCASEプロジェクト  
県内各地で様々な交通の課題を抱える地域において、本県がオープンデータ化する「3次元点群データ」を自動運転用地図（ダイナミックマップ）に活用した自動運転等の実証実験を実施。
- VIRTUAL SHIZUOKAプロジェクト  
まちの「デジタルツイン」時代における新たな社会インフラとして、レーザ測量により県土全域の3次元点群データを蓄積・オープンデータ化する取組。令和5年度までに、県土の93%の3次元点群データを取得済み。令和7年度までに全域の取得を目指す。

問合せ先

担当部局名	担当部局 電話番号	担当部局 メールアドレス	該当ホームページ
交通基盤部	054-221-2497	mirai@pref.shizuoka.lg.jp	<a href="https://pref.shizuoka.jp/machizukuri/1049255/index.html">https://pref.shizuoka.jp/machizukuri/1049255/index.html</a>